JMA マネジメントスクール

2～3年で生産性を50%向上させ、原価を20%低減させる

これからの時代に必要な「現場改善のプロ」、「デジタル人材」を育成する

ものづくり改善リスキリング

安全、2S、設備改善、作業改善、不良改善、クレームゼロから グローバルSCMの構築、デジタル改善、モラルアップまですべて網羅

開催日時	**2022年12月12日(月)～13日(火)** 2日間とも 10:00～16:30	
会　　場	日本能率協会 研修室（東京・港区・芝公園）	
対　　象	【部 門 別】	•工場長、製造部門のマネジャー、リーダー、スタッフ •品質保証部門、生産技術部門の責任者、マネジャー、スタッフ
	【要 望 別】	•短期間で生産性を上げたい、原価を20%以上低減したい •設備の稼働率を上げたい、作業の効率を上げたい •不良をゼロにしたい、ポカミスをゼロにしたい、クレームをゼロにしたい •業務を改善したい、ものづくり現場に適したDXを導入したい •現場のやる気を向上させたい、人材育成を体系的に行いたい
講　　師	中崎　勝	㈱ロンド・アプリウェアサービス 代表取締役社長
	大谷 みさお	㈱ロンド・アプリウェアサービス コンサルタント

■本セミナーのポイント

日本人のモラル、スキルはグローバルレベルで低いことをご存じですか？その結果として日本人の給料は 30 年間上がっていないという事実もご存じでしょうか？これが、今の日本の実態です。

その状態から脱却するための施策がリスキリング(学び直し)です。

リスキリングではこれからの時代に必要なスキルを身に付け、その人たちが永続的に工場の生産性の向上と原価低減をしていきます。

そのリスキリングに必要な 17 のツールを本セミナーを担当する講師が 30 年かけて開発しました。特長は、「スピーディーに確実に効果が出る」、「改善プロセスを経て人材を育成していくことができる」ことです。

対象範囲は、職場の基本である安全、2S からデジタル化に至るまですべてのものづくりをカバーします。

また、本セミナーでは生産性向上、原価低減、ツールごとの事例を多数紹介します。その事例により、具体的な進め方が理解できると共に改善のスピード感と大きな効果を確信することができます。

本セミナーを受け、ツールで改善を実践し、生産性を向上させ、原価を低減させ、自社のグルーバル競争力を上げるとともにこれからの時代に必要な人材を育成してください。

■ プログラム

10：00～16：30（昼食 12：30～13：30）

1日目

1. リスキリングの必要性
- リスキリングの必要性：日本の実態からの脱却
- 従来のツール(IE、QC、TPM)の課題
- リスキリングツール
- モラルとスキルアップのスパイラルアップ

2. 生産性を向上させ、原価を低減する
- ロスコストマネジメント：ものづくりの 35 大ロス
- 設備を極限稼働させる
  - ①原則整備へのアプローチ：トラブルの要因は 20 の原則崩れ
  - ②故障ゼロへのアプローチ
  - ③段取り改善へのアプローチ
- 作業の生産性を上げる／労務費を削減する
  - ④標準整備へのアプローチ
  - ⑤ビデオ標準作成へのアプローチ＋AI アドバイザー

3. 品質を上げ、原価を低減する
- 不良ゼロの 9 原則：不良の要因は 92、対策は 62 ツールは 10 → 原因がわからなくても不良はゼロになる
  - ⑥異物ゼロへのアプローチ
  - ⑦ポカミスゼロへのアプローチ
  - ⑧キズゼロへのアプローチ

2日目

4. クレームをゼロにし、顧客第一主義に回帰する
- クレームゼロへのアプローチ：これからの時代の品質保証体制
  - ⑨検査作業改善へのアプローチ：検査作業改善＋AI の活用
  - ⑩設計ミスゼロへのアプローチ
  - ⑪購買へのアプローチ

5. ものづくり現場のデジタル化を推進する
- IT も改善ツール：IT を活用することで QC,IE を効率化する
  - ⑫業務改善へのアプローチ：IT 化する前に業務の標準化
  - ⑬ものづくり DX：25 のモジュール
  - ⑭ものづくり SCM へのアプローチ：業務改善＋IT 化＋生産革新
- IT マネジメント

6. 職場の基礎作り。やはり大切、安全と 2S
- ⑮災害ゼロへのアプローチ：12 の要因と 9 つの施策
- ⑯実践 2S へのアプローチ：更地化で 1 日で 2S を完成させる

7. やる気を上げる。地頭を良くする
- ⑰モラルアップへのアプローチ
- 地頭向上プロジェクト

※本セミナーでは 17 のツールの概要を紹介します。
それぞれのツールのテキストは会場に展示いたします。

＊プログラム内容は変更される場合があります。　※参加者のご希望によりセミナーの時間配分が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

JMA 経営革新を推進する 一般社団法人日本能率協会

申込・セミナー詳細は　JMA100367　検索

ものづくり改善リスキリング

講師紹介（敬称略）



中崎　勝
㈱ロンド・アプリウェアサービス
代表取締役社長

1981年、株式会社ブリヂストンに入社、生産技術センターにて生産技術開発に従事。
1987年、株式階差日本デジタルイクイップメントに入社。システムエンジニアに従事。
1992年、株式会社ロンド・アプリウェアサービス設立。
会社創設時は、工場向けシステム開発ビジネスを目指したが、改善の重要性を再認識し、改善コンサルタントに転身。TPMから始まり、QC、IEと経験を積み、効果と効率性を追求した自前ツールを開発。日々のコンサルティングでツールを磨き上げた。短期間で効果を出すコンサルティングには定評がある。2015年からはIoT、AIをものづくりへの適用するコンセプトをつくり、実践している。これまでの指導企業、47社6団体（うち海外9社）

【主な著書】
『成功するCIM』、『やりたくなる5S』、『ポカミス「ゼロ」徹底対策ガイド』、『異物不良「ゼロ」徹底対策ガイド』（日刊工業新聞社）



大谷 みさお
㈱ロンド・アプリウェアサービス
コンサルタント

日立東京エレクトロニクス㈱入社、半導体製造部門に従事。
1998年㈱ロンド・アプリウェアサービスに入社。
これまでに組立・プロセス産業23社3団体から依頼を受ける。
現場作業者と一緒に行う“現場実践型”コンサルティング姿勢に定評がある。

c

お申込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申込みください。

1 パソコン（各種検索サイト）からダイレクトで

セミナーID（半角数字）JMA 100367 で検索

もしくは、**https://school.jma.or.jp/**

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合せください。
TEL：03(3434)6271

2 スマートフォン
タブレットから

参加料（消費税込）

一般社団法人 日本能率協会法人会員	115,500円/1名
上　記　会　員　外	126,500円/1名

※参加料にはテキスト（資料）費が含まれています。
※昼食の提供はございません。（各自でご用意ください。）
※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
https://www.jma.or.jp/membership/
※**参加申込規定**は**JMAマネジメントスクール**のWebページ（https://school.jma.or.jp/）に掲載しておりますのでご確認、ご同意のうえお申込みください。

参加定員 20名（10名に満たない場合は、中止または延期することがあります。）

会員制度のご案内
一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。是非この機会にご入会をご検討ください。
詳細は　**https://www.jma.or.jp/membership/**

プログラム内容に関する問い合せ先（企画担当）
一般社団法人日本能率協会 産業振興センター
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22　TEL：03(3434)1410(直通)

会場案内 会場地図は、参加証送付時にご案内いたします。
日本能率協会 研修室
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

キャンセル規定

キャンセルご連絡日	キャンセル料
開催15日前～開催8日前（開催当日を含まず）	参加料の10%
開催7日前～前々日（開催当日を含まず）	参加料の30%
開催前日および当日	参加料の全額

電話でご確認後、所定のお手続きをお取りください。万一キャンセルの場合、初回のお申出の日付によりキャンセル料が発生します。
（注）変更・キャンセルの場合は必ずJMAマネジメントスクールの問い合わせフォームよりご連絡ください。

申込に関する問い合せ先（参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容）
JMAマネジメントスクール　TEL：03(3434)6271
電話受付時間　月～金曜日9:00～17:00　ただし祝日を除く
E-mail：seminar@jma.or.jp　FAX：03(3434)5505